

2017年3月期  
第2四半期 決算説明会

2016.12.8



カーリットホールディングス株式会社

CODE : 4275

2017年3月期  
第2四半期 決算概要

□ 将来の売上に繋がる先行投資

広桃発電所更新工事着工

ボトリング設備増強 等

□ 組織再編（連結子会社間の合併）

⇒ 日本カーリット + 日本研削砥粒 + 第一薬品興業

研削材部門が産業用部材事業から化学品事業へ移管

※前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(単位：百万円)

	2016年3月期 第2四半期実績	2017年3月期 第2四半期実績	差 異	前年比
<b>売上高</b>	22,658	<b>23,831</b>	+1,173	+ 5.2%
売上原価	19,380	20,304		
率	85.5%	85.2%	△0.3pt	
販売費及び一般管理費	2,840	3,133		
率	12.5%	13.1%	+0.6pt	
<b>営業利益</b>	437	<b>393</b>	△44	△10.1%
率	1.9%	1.7%		
<b>経常利益</b>	479	<b>443</b>	△35	△7.4%
率	2.1%	1.9%		
<b>純利益</b>	266	<b>254</b>	△11	△4.3%
率	1.2%	1.1%		

売上高…化学品 ➡ ボトリング ➡ 産業用部材 ➡

利益… ➡ 研究開発費を含む一般管理費増加

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	差異	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	差異
化学品	9,514	10,328	+813	269	267	△1
ボトリング	8,936	9,057	+121	108	120	+11
産業用部材	3,665	3,895	+229	19	75	+56
セグメント計	22,116	23,280	+1,164	396	463	+66
その他・消去	541	550	+8	40	△70	△110
連結合計	22,658	23,831	+1,173	437	393	△44

化学品 ⇒ 三協実業が新規連結寄与。上海での一部商材取扱停止。

ボトリング ⇒ 生産増。定期修理期間短縮。

産業用部材 ⇒ アジア技研の連結寄与。東洋発條工業の収益改善。



(単位：百万円)

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	
営業活動による キャッシュ・フロー	776	767	償却前利益 1,403 運転資金等 △340 法人税等の支払い △687 法人税等の還付 391
投資活動による キャッシュ・フロー	△345	△736	固定資産の取得による 支出 △847
財務活動による キャッシュ・フロー	1,248	△131	有利子負債の増加 225 配当金の支払い △239 長期預り金の返還 △82
現金及び現金 同等物の増減額	1,683	△166	
現金及び現金 同等物の期首残高	2,886	4,788	
現金及び現金 同等物の期末残高	4,569	4,621	株式の発行による収入 +1,789

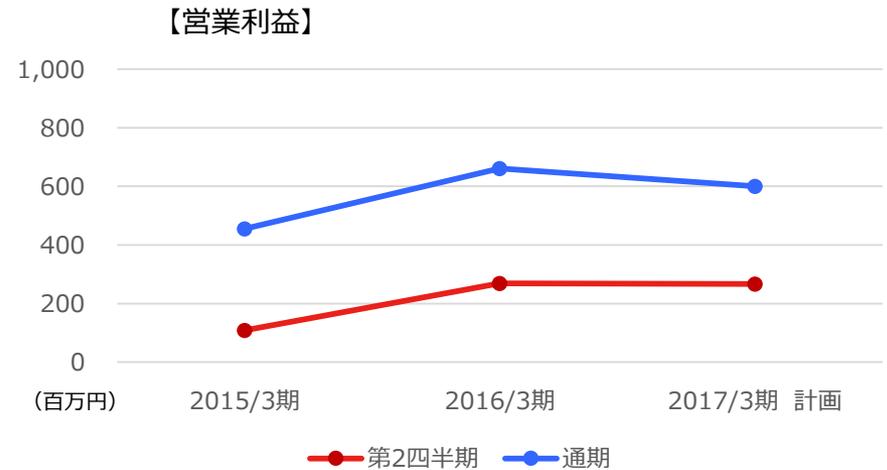
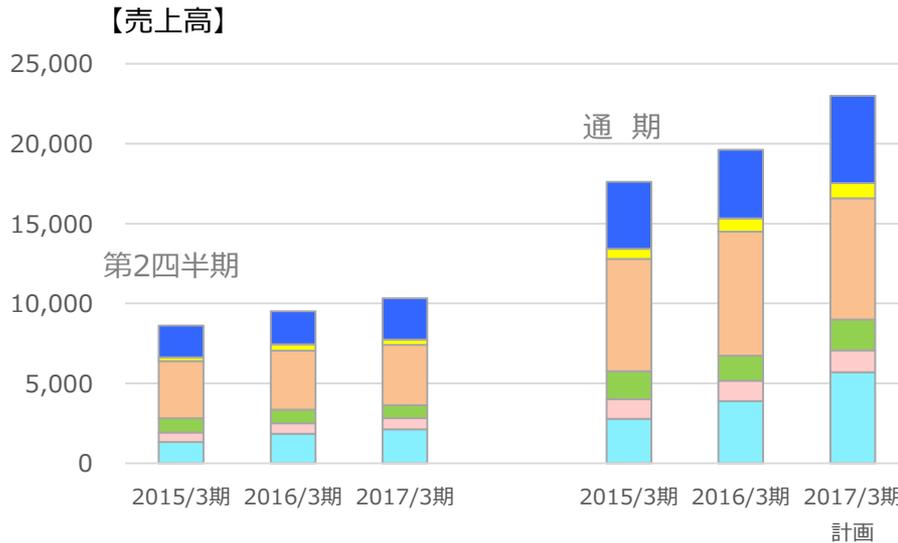
# 2017年3月期 業績予想

(単位：百万円)

	売上高		営業利益	
	2017年3月期 第2四半期 実績	2017年3月期 通期 計画	2017年3月期 第2四半期 実績	2017年3月期 通期 計画
化学品	10,328	23,000	267	600
ボトリング	9,057	17,500	120	400
産業用部材	3,895	8,500	75	300
報告セグメント計	23,280	49,000	463	1,300
連結合計	23,831	51,000	393	1,200
		経常利益	443	1,300
		純利益	254	650

# セグメント別

## <化学品事業>



### 化薬分野

- ➡ 産業用爆薬・薬品材料…爆薬は土木案件の困り込み、煙火材料は海外向け輸出強化
- ➡ 信号用火工品（発炎筒関連）…新車装着向け微減を車検交換向け等で補う

### 受託評価分野

- ➡ 危険性評価試験…リチウムイオン電池の試験増により堅調を維持
- ➡ 電池試験…顧客開発遅延により低調稼働

### 化成品分野

- ➡ 塩素酸ナトリウム・過塩素酸…販売量堅調
- ➡ 過塩素酸アンモニウム…ロケット向け需要が引き続き堅調

### 電子材料分野

- ➡ 海外展開強化

### セラミック材料分野

- ➡ 新規商材の拡販

### その他

- ➡ 三協実業…連結業績に寄与

既存製品の高シェアを安定的に維持

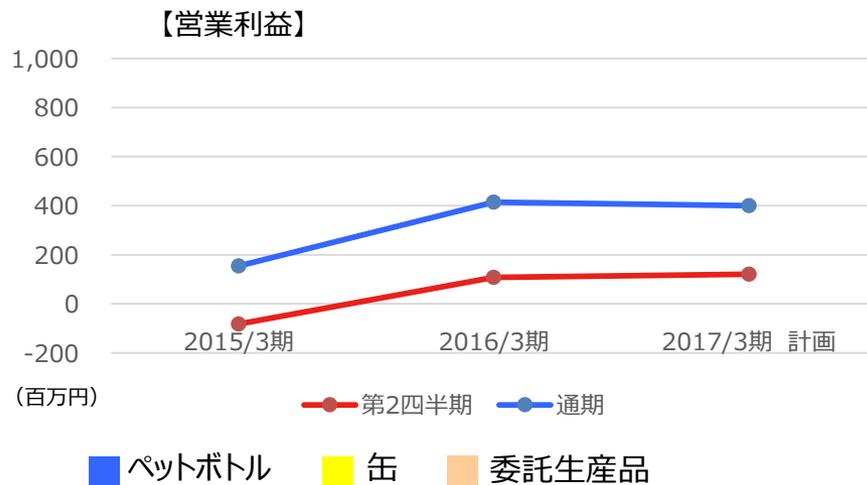
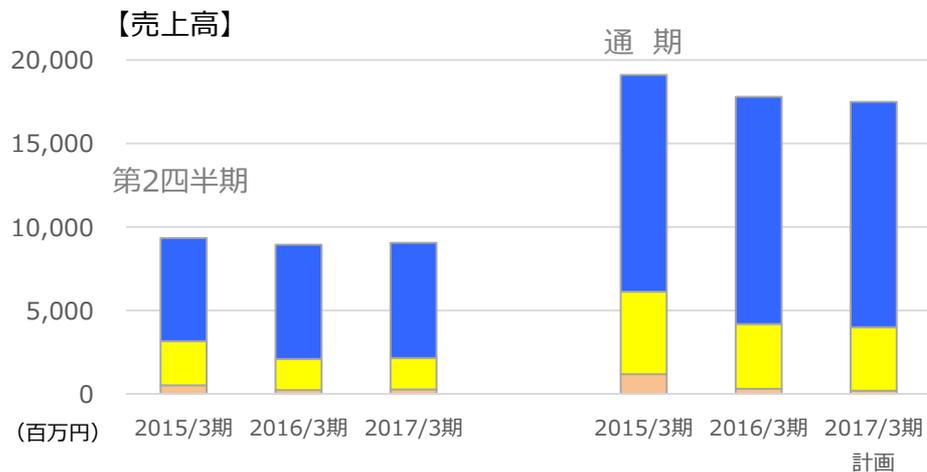


発炎筒

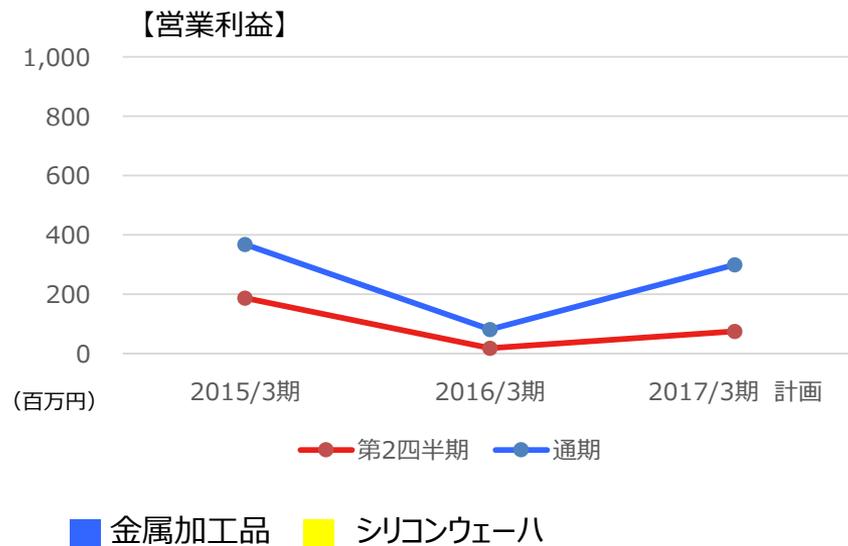
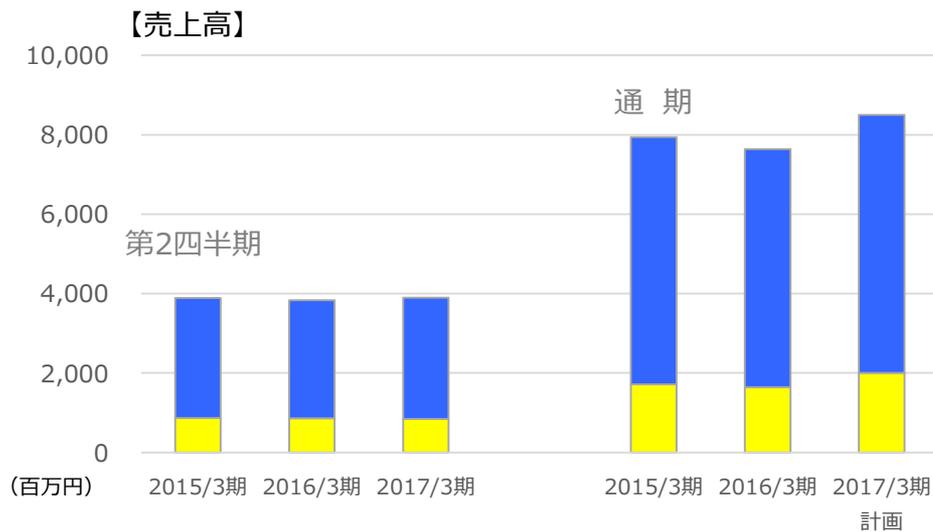


ロケット用固体推進薬原料

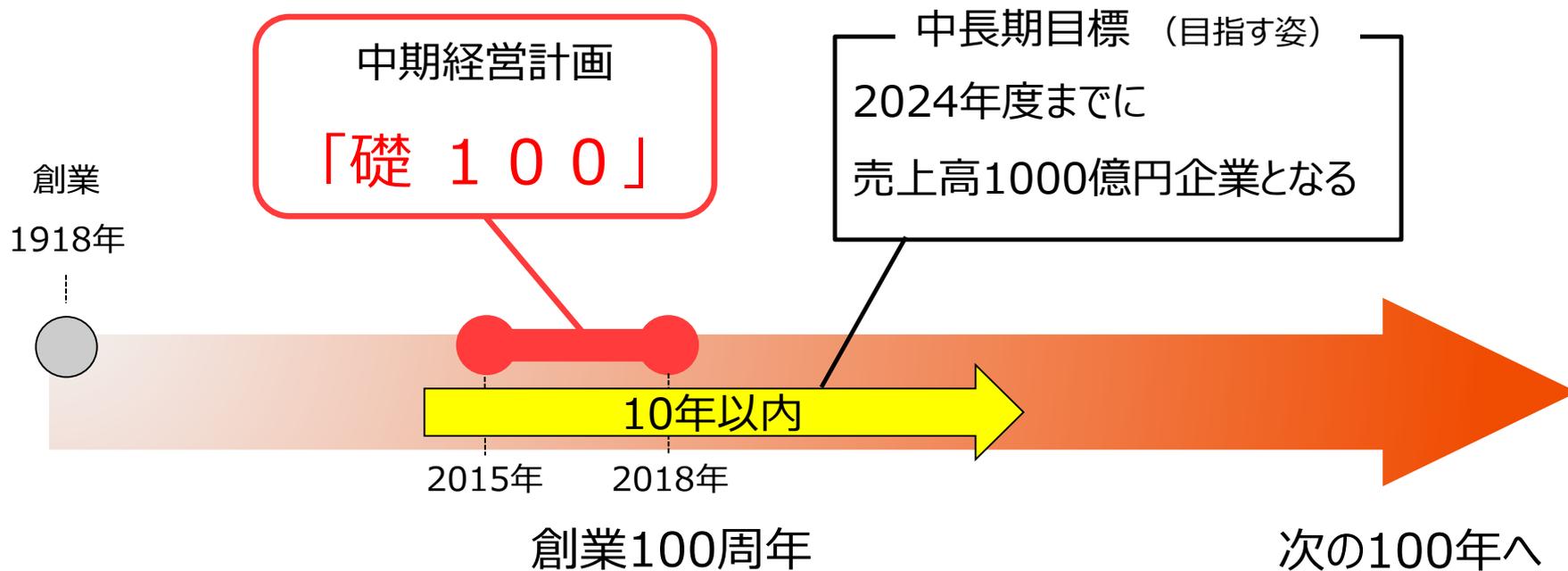
### <ボトリング事業>



### <産業用部材事業>



# 中期経営計画「礎100」



テーマ

- ①2018年の創業100周年を迎え、更に次の100年企業の礎となる事業基盤の確立
- ②グループ中長期目標（売上高1000億円）到達への道のりを確固たるものにする

売上高

650億円

営業利益率

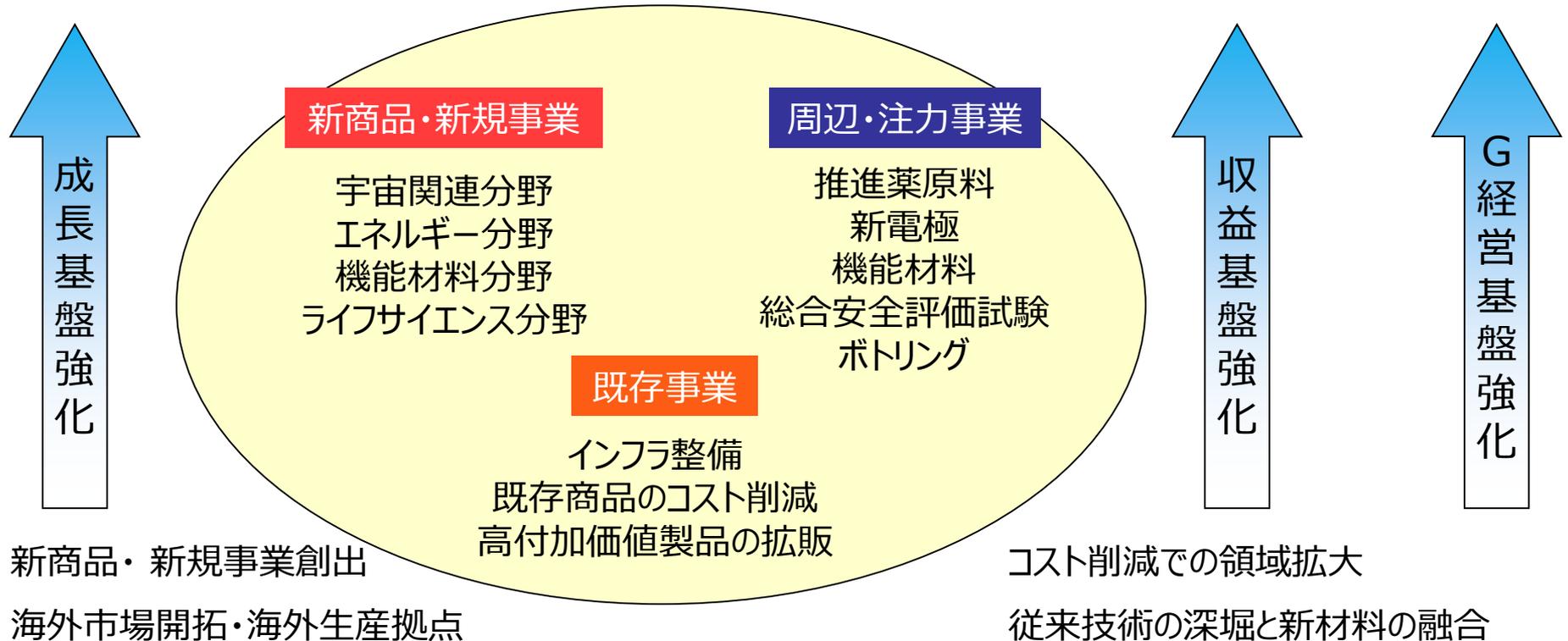
5%

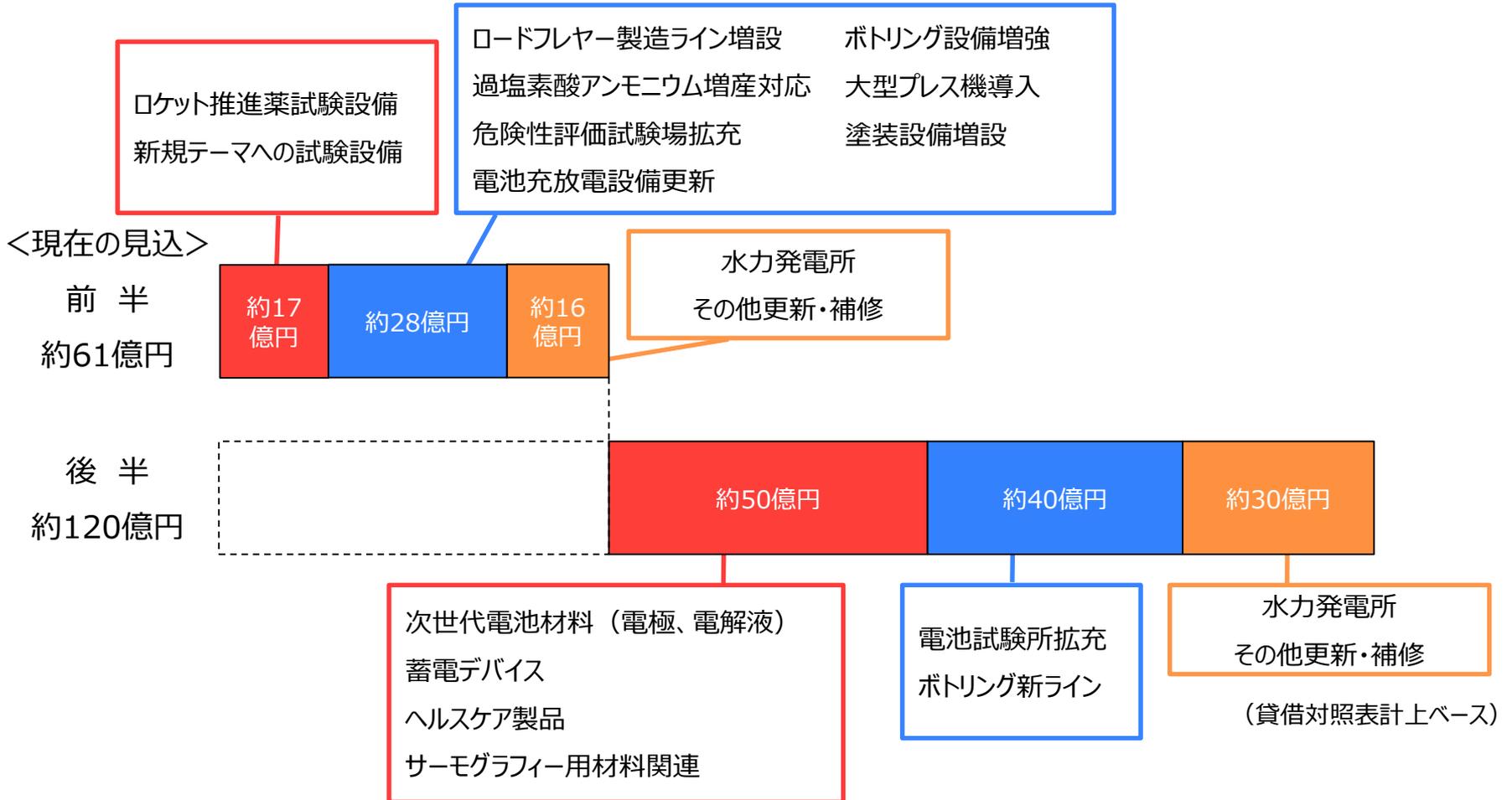
営業利益

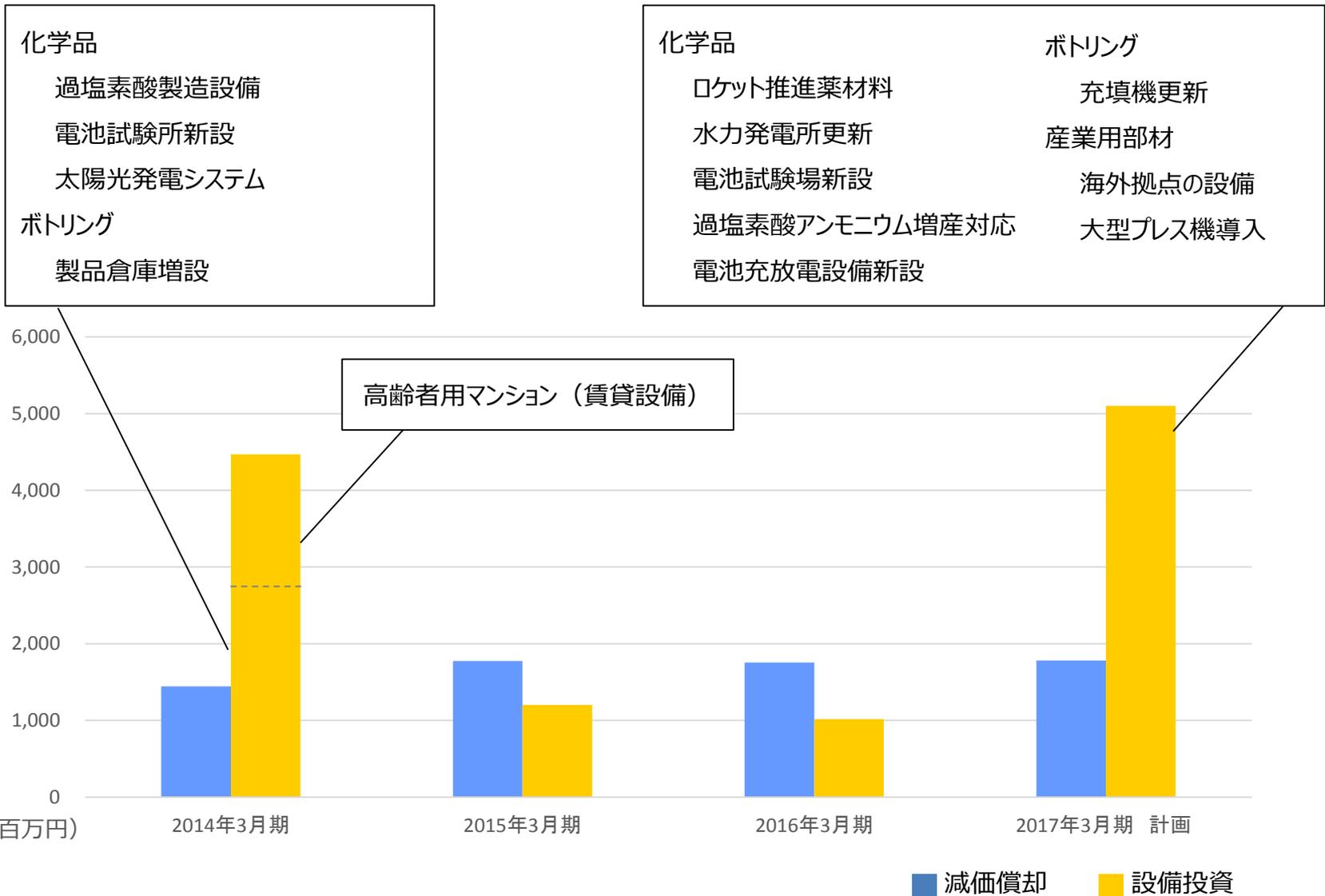
35億円

設備投資計画

200億円  
(4年間合計)







広桃発電所更新工事 着工 (日本カーリット)

2016年12月1日着工

2018年4月稼動予定

総工費約23億円



発電所外観

ボトリング設備増強 (ジェーシーボトリング)

ペットボトルラインの設備増強により生産能力向上

2017年3月稼動予定



ボトリング工場全景

危険性評価設備増強に向けたインフラ整備 (日本カーリット)

大型プレス機導入による金属加工品拡販

(東洋発條工業)



サーボプレス機

海外拠点 (ベトナム) 設立 (並田機工)

耐火・耐熱金物の製造・販売

初のASEAN生産拠点

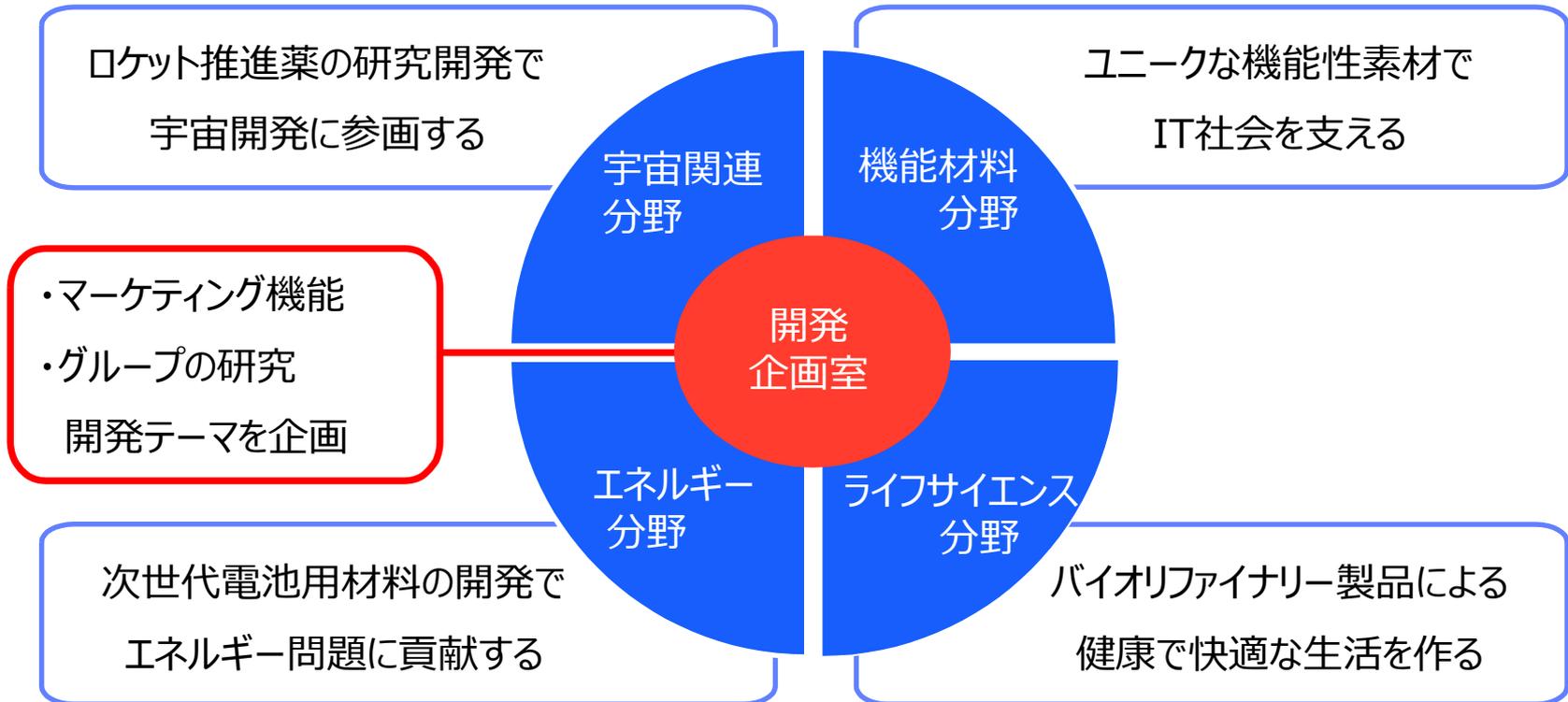


工場外観



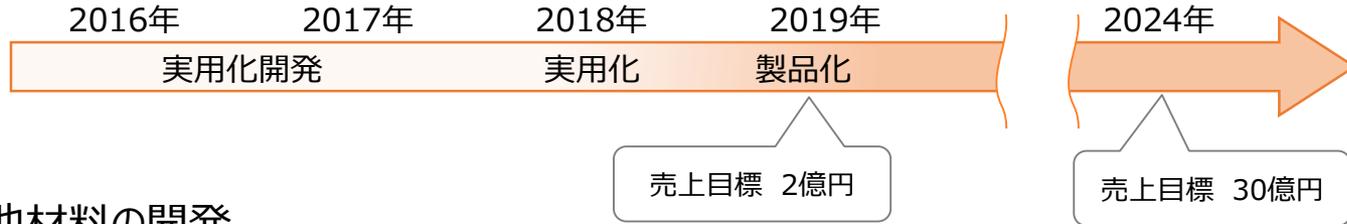
【新たなコア技術の創出に向けて】

研究開発体制



開発テーマの取り組み状況

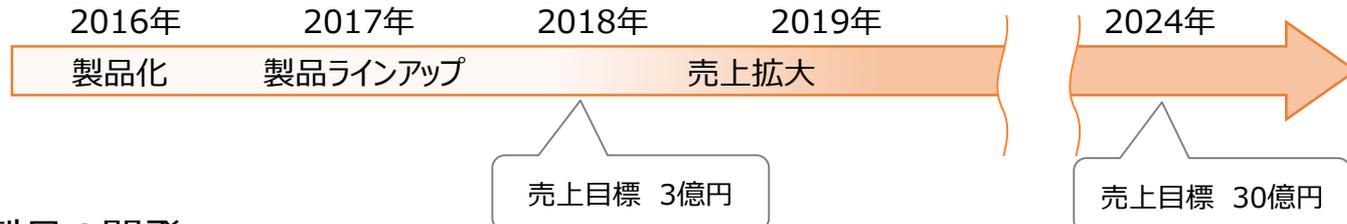
推進薬関連の開発



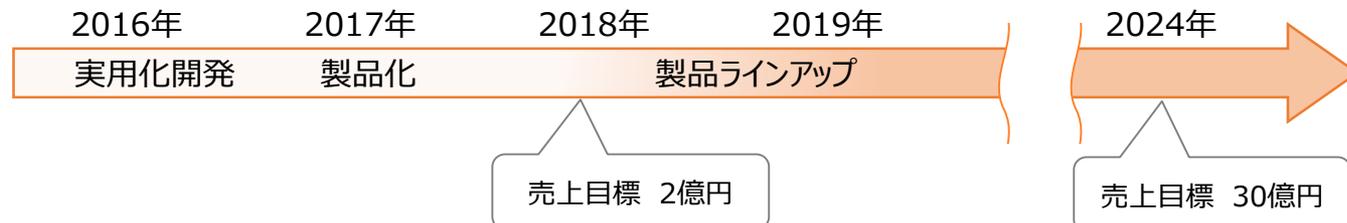
次世代電池材料の開発



サーモグラフィ用材料の開発



ヘルスケア製品の開発



研究開発成果の一例 ヘルスケア製品の開発（茶葉を用いた新しい化粧品原料）



茶殻

抽出工程



緑茶ポリフェノール

茶葉から抽出、粉末化し、抗酸化力の高いカテキンを多く含む

抗菌、メラニン産生抑制、紅斑抑制、ニキビ予防などの効果



スキンケア商品への展開

脱ポリフェノール茶殻

抽出・

置換工程



クロロフィル

緑茶の特色である緑色を保つ  
消臭、抗炎症効果



洗浄・デオドラント商品への展開

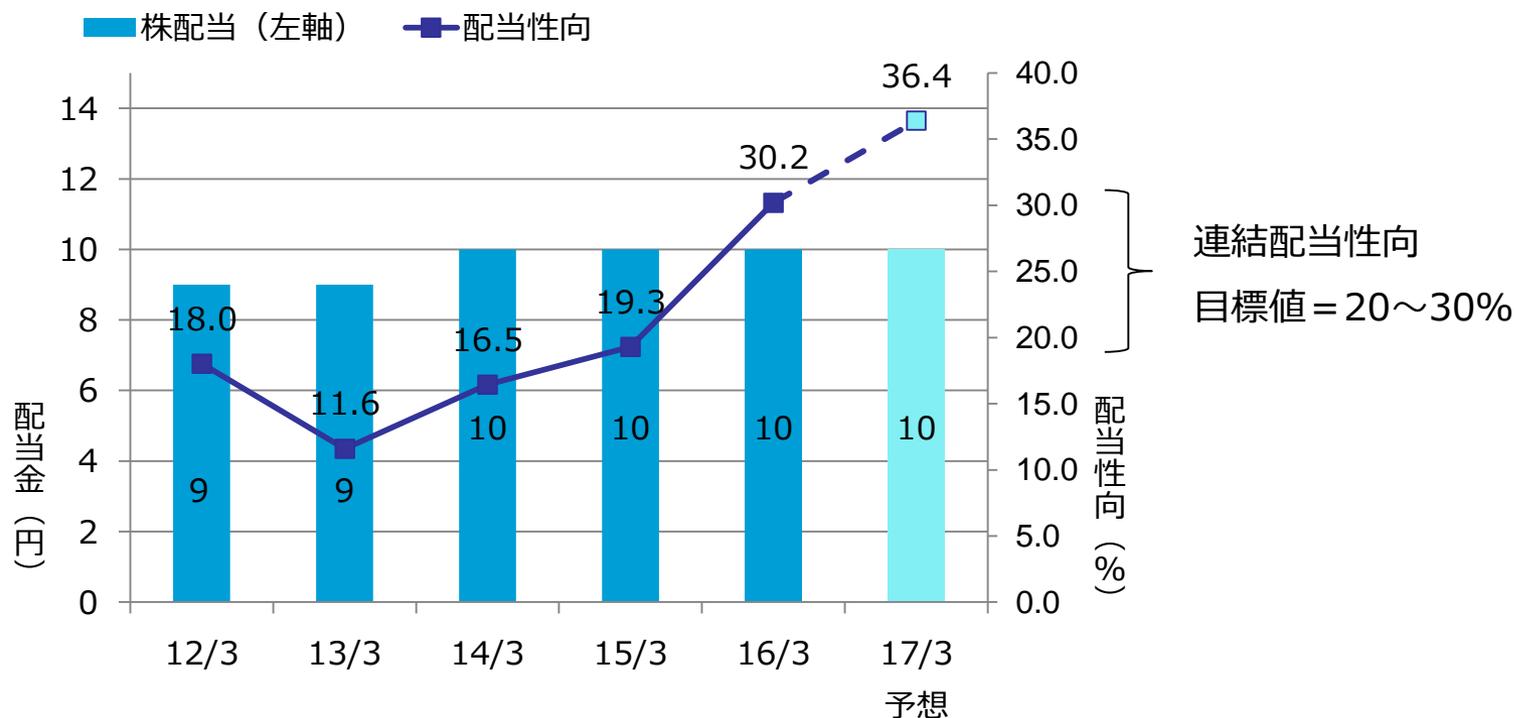
バイオリファイナリー技術の確立

### 利益配分

経営環境、業績、将来の事業展開を総合的に勘案

### 内部留保

経営基盤の強化、研究開発等に有効活用



IRに関するお問合せ先：  
カーリットホールディングス株式会社  
広報部  
電話：03-6893-7060  
メール：pr@carlit.co.jp

本資料は当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては断りのない場合は2016年9月30日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された見通し等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。